

タスク	2021年度												2022年度以降
	第1 四半期			第2 四半期			第3 四半期			第4 四半期			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
原子力規制委員会	▼報告(四半期) ▼報告(総合的な評定)			報告(四半期)			報告(四半期)			報告(四半期)			報告(四半期) 報告(総合的な評定)
検査制度に関する意見交換会合	▼第6回			(年4回程度)									
制度及び運用の改善検討													
1 原子力規制検査の事業者の取り組み<新規>													
(1)CAPシステムの運用状況<事業者>													
①CAPシステムの概要													
②1年間の運用実績													
③1年間の運用実績を踏まえた課題と改善													
④その他													
(2)自主PIの取組状況<事業者> ※3.(4)と関連													
▼関電、九電													
<事業者>CAPシステムの運用状況(各回2~3社(電力会社から順次))													
<事業者>自主PIの取組状況(適宜、取組状況の確認)													
2 原子力規制検査の運用状況の確認													
①原子力規制検査の四半期報告													
②原子力事業者からの意見													
▼第4四半期報告													
四半期報告(四半期ごと)													
③総合的な評定													
▼令和2年度総合的な評定													
▼令和3年度総合的な評定													
3 当面の課題													
(1)検査制度を継続的に改善する仕組み													
a. 継続的な改善の運用													
▼ガイド案の提示(第2段階)													
課題と改善案													
インプット情報*の収集、評価(適宜、意見交換会合等で収集)													
改善の検討													
継続的な改善の運用													
*①検査官からの直接的意見、②本庁による現場調査等、③事業者からの直接的意見、④第三者からの意見(学協会等)、⑤海外等情報、⑥原子力安全に係る新知見等													
b. 検査官の意識調査													
課題と改善案													
検査官の意識調査(目的等の見直し、アンケート等の実施、分析・評価)													
(2)核燃料施設等の重要度評価手法													
a. 核燃SDP 再処理、加工・試験研究炉													
▼議論													
▼試運用の中間報告と簡易評価の修正案													
ガイド類への反映													
評価手法の検討/加工施設による試運用													
▼規制対応の上限に係る議論													
他施設の検討													
(3)PRAモデルの活用拡大													
a. レベル1 PRA 適切性確認													
柏崎刈羽7、高浜3/4、川内1/2ほか(適宜、確認状況の報告)													
<事業者>PRA適切性確認における指摘事項等の取組状況の確認(適宜、確認状況の報告)													
b. レベル1.5PRA 適切性確認													
大飯3/4、玄海3/4(適宜、確認状況の報告)													
c. リスク評価の範囲拡大													
溢水、地震等の外的事象にかかるリスク評価手法の検討(適宜、確認状況の報告)													
(4)横断領域													
a. 原子力規制検査での横断領域の取扱い													
【中長期】原子力規制検査での横断領域の取扱い													
※NRCの検討状況を踏まえる													
NRCの検討状況													
(5)執務環境の改善													
a. 外部有識者の方による現場視察													
課題と改善案													
外部有識者の方による現場視察、意見交換、課題の抽出													
改善の検討													
(6)検査に係る技術的事項の認識共有													
必要に応じて、検査に係る技術的事項について議論													
(7)関係者とのコミュニケーションのあり方													
※新たな仕組みへ移行するまで、既存の仕組みで関係者とのコミュニケーションを継続													
関係者とのコミュニケーションのあり方の検討													
原子力学会WGとの連携													
(1)原子力学会WGの状況													
<原子力学会>検査制度の効果的な実施に関する検討WGとの連携(適宜)													